



水稲生産情報（6月号）

令和3年6月17日
JA つがる弘前
弘前北地区営農係

田植後は6月に入り温暖な日が続き、現在稲の生育は平年並みとなりました。
定植から約1か月経過すると残草が発生する時期になります。発生に応じて中後期除草剤を、
早期に散布するようにしましょう。

《 生育状況 》

5月下旬は、気温が低く曇りの日があった為、田植え後の活着がやや遅れた所もありましたが、6月からは天候回復とともに順調な生育をしており、生育はおよそ平年並みに経過しています。

【農協生育観測圃調査結果（調査日：6月10日）】

調査品種	つがるロマン		まっしぐら		青天の霹靂	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
草丈（cm）	28.5	28.5	32.1	30.4	31.4	32.6
茎数（本）	4.6	5.0	4.7	5.2	5.2	5.6
葉齢（葉）	5.0	5.4	5.2	5.1	4.9	5.3

《 水管理 》

午前9時の気温が20℃以上の温暖な日は3cm程度の浅水管理、低温の日は5～6cm程度の深水管理とし、茎数を確保するためこまめな水管理を行いましょ。

《 中干し 》

茎数が20本程度になったら行いましょう。中干しは、水田に軽くヒビが入る程度とし、
幼穂形成期前には終了しましょ。生育が遅れている場合や、低温が続く場合は中干しを
中止しましょ。

平年では
7月13日が
幼穂形成期

中干しの目的

1. 余分な窒素吸収を抑え、過剰分げつを抑制する
2. 土に酸素を供給し、ガス抜きして根を活性化する
3. 下位節間の伸長を抑え、倒伏しにくい稲にする
4. 田面が硬くなり、収穫時の機械作業が楽になる

《 除草剤散布 》

一度水田を確認し雑草が見られる場合は、草種や散布時期に応じて除草剤を散布しましょ。

対象の種類	薬剤名	10aあたり使用量	使用時期と水深	使用回数
ヒエ	クリンチャー粒剤	1 kg	ノビエ 4葉まで 水深5cm程度	2回
	クリンチャーEW	100ml/水 100L (1,000倍) ※展着剤加用	ノビエ 6葉まで 落水状態にして散布	2回
ヒエと 広葉	クリンチャーバス ME液剤	1,000ml/水 100L (100倍)	ノビエ 5葉まで 落水状態にして散布	2回
	ヒエクリーン バサグラン粒剤	3 kg	ノビエ 4葉まで ごく浅水状態で散布(1～2cm)	1回
	レプラス1キロ粒剤	1 kg	ノビエ 4葉まで 水深5cm程度	1回
広葉	バサグラン粒剤	3～4 kg	落水状態にして散布	1回
	バサグラン液剤	500ml/水 100L (200倍)		1回

※農薬節減米を出荷する方は、バサグランのみの使用となります。